戦略的な公共施設マネジメントの導入支援

テーマ	公共施設の維持管理・適正化
キーワード	都市空間、建築、施設管理、再編、適正化、マネジメント、FM

公共施設再編マネジメント

学校教育施設や市民文化施設をはじめとする公共施設は、高度経済成長期を中心とした同時期に整備されたため一斉に老朽化が進み、安全性の確保や維持管理費の増大が課題となっています。一方で、これらを管理する地方公共団体の財政状況は厳しい状況にあり、限られた予算を適切に配分する必要があります。また、人口減少や少子高齢化による利用需要の変化や、コンパクトシティ化に向けた取り組み等から、公共施設は、総量や用途、管理方法の見直しを迫られています。

このような状況から、**地方公共団体が保有する公共施設を経営的・戦略的視点から運営・管理・活用するために、公共施設の現状把握や今後の維持管理に向けた計画の立案、適正化方策や官民連携に関する方策の検討を行っています。**

業務内容

■現状把握

施設の劣化状況や利用状況の把握、分析や評価を行い、保有する施設の現状を公共施設白書やカルテを作成します。また、このまま維持し続けた場合にかかるコストを試算します。劣化状況を把握するためには、現地調査を実施します。

■全体方針の検討

保有する施設全体の方針を定めるために、同種施設の比較評価、施設の分布状況や課題の見える化、今後かかるコストと財源の比較等を行い、マネジメントの方針を検討します。方針に沿ったマネジメントを推進するために、推進体制の検討や施設の削減等の目標の設定を行います。

■事業化に向けた検討

現状のまま保有し続ける施設に対しては、より詳細な調査やコストの平準化も考慮した改修計画を検討し、保全計画や長寿命化計画を立案します。

廃止や集約化・複合化等の再編対象となる施設に対しては、地方公共団体の施策や将来的な住民ニーズ等を基に、施設の総量削減や運営方法の変更等、適正な手法を検討し、再編計画を立案します。官民連携の可能性を探るために、民間事業者へのヒアリングも実施しています。

■実行

策定した計画の進行管理や見直しを行い、マネジメントサイクルの運用を支援します。

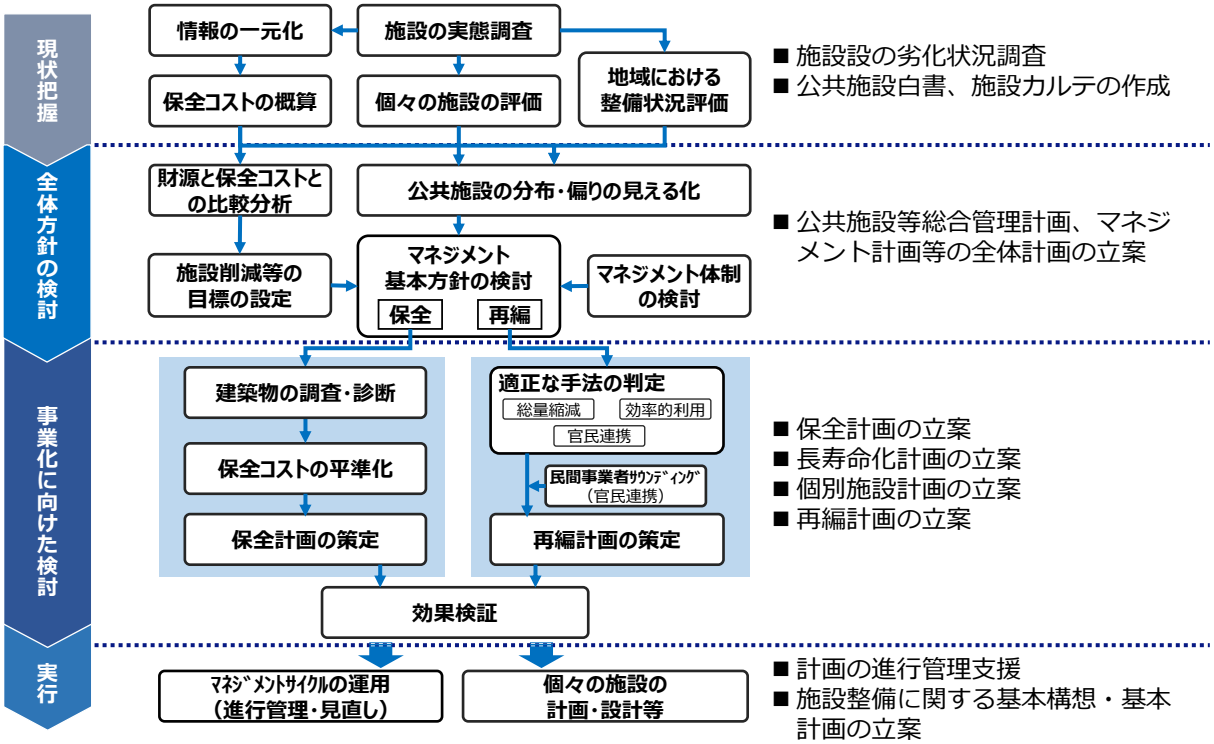
再編等により整備を行う施設に対しては、基本構想や基本計画を立案します。

日本工営株式会社

お問合せ	内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。
	URL http://www.n-koei.co.jp/contact/

実施フロー

公共施設マネジメントの全体の流れを下図に示します。お客様の状況に応じて、必要なステップを抽出し、検討項目をご提案します。



技術ポイント

■**リスクの低減：安全で安心な公共施設サービスを提供するためには、早く施設の不具合を発見して対策を講じることが大切です。弊社が調査を実施するだけでなく、施設管理者である職員が実施可能な調査プロセスを検討し、ローリング調査を支援します。**

■職員の意識の醸成：公共施設マネジメントに取り組むには、部門横断的な検討も必要であり、職員の動機付けが重要です。施設の方針を議論する会議体の運営や講演会の企画を行います。

■計画の着実な実施：計画の着実な実施にあたって、進行管理方法を検討します。進行管理システム導入のご提案も行っています。

関連業務の実績

■現状把握

公共施設白書や施設カルテの作成：千葉県浦安市、神奈川県大和市、山梨県山梨市

■全体方針の検討

公共施設等総合管理計画の策定：東京都青梅市、千葉県浦安市、山梨県山梨市、佐賀県基山町

■事業化に向けた検討

個別施設計画：東京都小金井市、千葉県浦安市、神奈川県大和市、山梨県山梨市、栃木県日光市

保全計画：神奈川県川崎市の個々の施設で実施

再編計画：宮城県、東京都青梅市

個々の施設の計画：道の駅、斎場、市民交流施設を中心に実施